

報道関係者各位

2020 年 10 月 28 日

- RAD-AR 10,000 Series, Vol.4 -

**日本宝くじ協会の助成を受け、
くすり教育用中高生向け小冊子 10,000 冊を配布**

一般社団法人 くすりの適正使用協議会（東京都・中央区、以下協議会）は、一般社団法人日本宝くじ協会（東京都・千代田区、以下宝くじ協会）の助成を 2019 年度に初めて取得し、くすり教育用中高生向け小冊子の配布を行っており、本年度も引き続き実施しています。

本助成事業は、中高生向け小冊子「くすりは正しく使ってこそくすり！」を 10,000 冊（年間）配布するもので、科学技術館（東京都）の「くすりの部屋—クスリウム」（日本製薬工業協会運営）と、内藤記念くすり博物館（岐阜県）、大阪科学技術館（大阪府）に配架、協力いただいています。

本年度は、新型コロナウイルスの影響により、対象の施設の閉館や入場制限がありましたが、10 月に入り、コロナ対策を行っての運営が軌道に乗り始め、協力頂いている上記 3 施設での配架、活用が始まりました。科学や薬に関心の高い子どもたちや保護者へのくすり教育の啓発活動につながるものと考えています。

なお、宝くじ協会は、毎年、公益法人等約 100 団体が行う公益事業に対して助成を行っており、当協議会が実施する子どもたちへのくすり教育の啓発事業が高く評価されています。

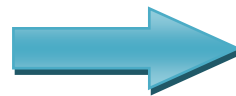
※本小冊子は、2017 年に文部科学省、日本薬剤師会とともに、中学生・高校生向けに、学校教育におけるくすり教育の補助資料として共同制作したものです。



【小冊子 PDF 版、PPT 版の閲覧・ダウンロード】

以下 URL または右の QR コードから

<https://www.rad-ar.com/items/>



当協議会について

くすりの適正使用協議会は、くすりの適正使用 を普及・啓発するために、1989 年に創立されました。「誰もが健康な生活を実現するため、信頼できる情報をもとに判断し、行動できる社会を目指す」ことを VISION に掲げ、様々な会員が活動に参加しています。医薬品の本質を評価する「薬剤疫学」の普及促進、医療用医薬品の情報を患者さん向けに分かり易く記載 した「くすりのしおり®」の公開、くすり教育の支援などに取り組んでいます。

以 上